

□ 要請番号 (JL32420A18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラグアイ	G182 小学校教育	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・科学省

2) 配属機関名 (日本語)

プロフェソール・エンカルナシオン・アルム・デ・ビベ
第77小学校

3) 任地 (パラグアイ県パラグアイ市) JICA事務所の所在地 (アスンシオン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、就学前教育(3歳児～)、基礎教育課程第1サイクル(1～3年生)、第2サイクル(4～6年生)、第3サイクル(7～9年生)を擁する小学校である。1907年に設立され、授業は午前(7～11時)、午後(13～15時)で行われている。教員は40名、生徒数は約300名、地域基幹校の一つとして周辺校8校を兼轄している。政府からの予算は人件費のみで、校舎の管理費や教材費等は父母会等から約1300ドルの寄付にて賄っている。JICA海外協力隊の派遣実績は無い。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では、過去に派遣されていたJICA海外協力隊員が中心となり作成した算数科の教師用指導書(MaPara)、問題集(4D)、実物教材を取り入れた授業への転換を図っている。従来の「板書したものをノートに書き写す」だけの学習形態から、子ども一人一人が自ら考え、自己解決できる能力を養うための学習過程を目指している。2019年3月からMaPara(小学校1年生用)が教育・科学省より教師用指導書として正式に認可され、パラグアイ全国での使用が開始された。同校でも同様にMaParaを利用した授業を行っているものの、更なる児童の学業成績の向上や思考の発達を強化すべく、JICA海外協力隊の支援が求められた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

主には配属先校で活動を行いつつ、県教育総局、教育監督官事務所とも調整のうえ、主に以下の活動を行う。

1. 算数科教師への各種助言
2. 授業改善・指導力向上にかかる公開授業研究会、勉強会等への実施・支援
3. 月1回開催される県内教師向けの研修会への支援
4. 教育技術チームが開催する会議への参加
5. 県教育総局、教育監督官事務所と県内の他校に配属される隊員との連絡調整

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机、椅子、プリンター

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・ 校長(女性、教員経験25年)
- ・ 教育技術コーディネーター 2名(女性)

活動対象者:

- ・ 県教育技術チーム教員:10名(40～50代)

- ・県内」算数・技術チーム教員:26名(35～50代)
- ・県内学校コーディネーター:60名(30～50代)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（小学校教諭）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚と同等レベルが求められる

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（教員経験）3年以上 備考：教育への指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

住居はホームスティとなる予定。

【類似職種】